

支援機器等教材活用実践事例フォーマット

実践年度・タイトル		令和(3)年度
		ICT(ロイロノート)を活用した国語の授業実践
授業について	教科名等	■国語 □社会 □算数/数学 □理科 □生活 □音楽 □図画工作/美術 □家庭/技術・家庭 □体育/保健体育 □特別の教科 道徳 □外国語/外国語活動 □総合的な学習の時間 □特別活動 □自立活動 □各教科等を合わせた指導 □その他の教科 □その他(生活・身辺自立・行動の切り替え)
	単元・題材名	国語
	授業の目標	①複合語の意味を知り、身の回りにある複合語を見つける。
	学力の3要素	■「知識及び技能」 ■「思考力・判断力・表現力等」 ■「主体的に学習に取り組む態度」
学習集団と子供の実態	学校・学部・学年・人数	□通常の学級 □通級による指導 □特別支援学級 ■特別支援学校 □就学前 ■小学生 □中学生 □高校生以降 □特定されない (6)年 (5)人
	対象の障害	□視覚障害 ■聴覚障害 □知的障害 □肢体不自由 □病弱・身体虚弱 □言語障害 □自閉症 □情緒障害 □LD(学習障害) □ADHD(注意欠陥/多動性障害) □その他
	子供の困難さ	□見ること ■聞くこと ■話すこと ■読むこと ■書くこと □動くこと ■コミュニケーションをすること ■気持ちを表現すること □落ち着くこと・集中すること □概念(時間、大きさ等)を理解すること □学習(計算、推論等)すること □その他
支援機器等教材の活用について	活用の意図	Aコミュニケーション支援(■A1意思伝達支援 □A2遠隔コミュニケーション支援) B活動支援(□B1情報入手支援 □B2機器操作支援 □B3時間支援) C学習支援(■C1教科学習支援 □C2認知発達支援 □C3社会生活支援) D実態把握支援(□D1実態把握支援)
	使用した支援機器等教材の名称と画像	iPad(ロイロノート) 
授業展開	授業展開・支援の手立て	・複合語の意味を知る。教科書に載っている複合語を紹介する →教科書をスキャンしたものをロイロノートで提示しながら説明 ・身の回りにある複合語を見つけ、ロイロノート内のワークシートに記入する。記入したワークシートを教師のロイロノートに提出する。 ・見つけた複合語を発表したり、見合ったりする。 →友達の見つけた複合語を見合うことができるように全員のワークシートを一度に提示する。 →発表する際はワークシートを拡大し、必要に応じてポインターを使って、今発表しているところがどこか分かるようにする。 ・最後に複合語の意味や自分や友達の見つけた複合語をワークシート(紙)に書いてまとめる。
効果・評価	子供の様子や変容および授業の評価	・全員のワークシートをすべて提示して見合うことで、様々な複合語があることに気づくことができた。また児童同士で見つけた複合語について話す様子が多く見られた。